

保健所運営協議会開催結果報告書

令和4年度 第1回	日時	令和4年7月22日(金)から令和4年8月5日(金)まで	出席者	委員	26名	協議会名 役員名	会長	西川 覚
				(欠席)	1名		副会長	博多 尚文
	場所	書面による開催		職員	13名		副会長	—
			傍聴者	0名				
議 事	審議内容の要点			保健所長の意見			付記	
会長・副会長の選出について	会長は門真市医師会の西川委員、副会長は守口市医師会の博多委員とする。			健康危機管理関係機関会議等の重要な会議は、Webも活用しながら、有事の際に機能できるよう準備を整えたいと考えている。 また、管内市で健康指標向上に向けた取り組みを始められており、健康課題の解決も期待できるため、必要な支援を行っていきたいと考えている。				
大阪府守口保健所の令和3年度運営実績について	(主な意見) ○感染拡大に伴って災害訓練や危機管理関係機関会議が中止となったようだが、有事の時でも重要会議や訓練は行われるべき。 ○平時と有事両方に対応できる体制について、国民も含めた意識・認識の深化が大切であり不可欠だと考える。							
大阪府守口保健所の結核対策～生活保護担当課と連携した取り組みについて～	(主な意見) ○270万人都市の大阪市に保健所がひとつしかないのが平時はいいかもしれないが、有事の際は大丈夫かと疑問に思った。 ○生保との協働はよい活動と思った。 ○結核対策は、引き続き取り組みが必要であると認識しており、協力して取り組みを行っていく。門真市では令和4年度に健康施策担当参事を配置し、庁内の情報共有とともに市民の健康指標向上に向けた取り組みを検討し、健康施策全般の取り組みを進めている。門真市の健康課題について、広域の視点から教えていただき、どのような取り組みが有効であるかなど、意見をいただきたい。							